

シフト・シェア分析ツールの の使い方（総生産）

シフト・シェア分析とは？

各市町村の生産がどのような要因によって増加しているかを要因分解によって明らかにする手法で、地域分析の標準的な手法として広く用いられています。

要因は3つに分解されます。

① 熊本県の要因 = 熊本県の成長の各市町村への配分

② 産業構成の要因 = 成長産業のウエイトなど産業構成の相違による増加分

③ 各市町村の要因 = 各市町村の固有の要因によって増えた部分

計算式は次のとおりになります。

① 熊本県の要因 = 基準年の数値 × 県の全産業増加率

② 産業構成の要因 = 基準年の数値 × (県の産業別増加率 - 県の全産業増加率)

③ 各市町村の要因 = 基準年の数値 × (市町村の産業別増加率 - 県の産業別増加率)

次のような分析を行うことができます。

1 H28(2016)年度のA町の産業がH27(2015)年度よりも増加した要因を知りたい場合

(県が増加したから?)

- (1) シフト・シェア分析ツール（生産）ファイルを開きます。
- (2) 「シフト・シェア」シートの「調べたい市町村名」でA町を選択します。
- (3) 「シフト・シェア」シートの「調査年度」で「H28(2016)」を選択します。
- (4) 「シフト・シェア」シートの「基準年度」で「H27(2015)」を選択します。
- (5) H28(2016)年度の対 H27(2015)年度増加実数（単位：千円）、増加率とその内訳（単位：%）、増加寄与度とその内訳（単位：%）が、それぞれ表形式で、産業別に表示されます。
- (6) 県が増加したためにA町が増加した分は、「熊本県の要因①」で表示された部分です。

(7) 「グラフ」シートに移行すると、「シフト・シェア」シートの表の結果を、

- ・ 経済活動別の増加率に対する増加要因のグラフ
- ・ 経済活動別の増加寄与度に対する増加要因のグラフ

として得ることができます。

各グラフでは、「シフト・シェア」シートで数値で示した、熊本県の要因、産業構造の要因、市町村固有の要因をそれぞれ色分けした棒グラフで示し、これら3つの要因の合計として、増加率または増加寄与度を折れ線グラフとして表示します。

ここで、増加寄与度の合計値は、市町村の総生産合計（帰属利子、関税等を除いたもの）の増加率に一致します。また、一部市町村の水産業の総生産額は秘匿のために林業と合算しているため、市町村固有の増減要因を反映していない場合があります。